



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院及び江東リハビリテーション病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

《研究代表機関》

施設名 : 学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院
住所 : 東京都中央区明石町 9-1
電話 : 03-3541-5151
研究責任者 : リハビリテーション科 直長 史也

《共同研究機関／分担研究施設》

施設名 : 一般社団法人巨樹の会 江東リハビリテーション病院
住所 : 東京都江東区北砂 2-15-15
電話 : 03-6880-1555
研究責任者 : リハビリテーション科 畠田 将行

聖路加国際病院で大腿骨近位部骨折(大腿骨頸部骨折、大腿骨転子部骨折)の手術をされた方を対象とした治療経過に関する研究

1.研究の対象

- ・2017年1月から2021年12月までの期間において、大腿骨頸部骨折、または大腿骨転子部骨折と診断され、聖路加国際病院で手術し、その後江東リハビリテーション病院で理学療法(リハビリテーション)を受けられた方。

2.研究の目的・方法

- ・太ももの骨である大腿骨(脚の付け根側)の骨折は、生命予後や日常生活動作に影響を及ぼすとされ、寝たきりや要介護状態に陥る原因の1つとされています。それらを予防するためには、適切な手術後のリハビリテーションが重要です。
- ・今回の調査の目的は、リハビリテーション経過がその後の身体状態や生活環境に与える影響を明らかにすることです。
- ・聖路加国際病院から江東リハビリテーション病院へ転院された方に対して、入院から自宅退院までの傾向を把握するために、本研究は次に示す「5 研究組織」にありますように複数の研究機関と行う共同研究です。
- ・なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。
- ・調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2024年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

- ・カルテID、年齢、性別、身長、体重、合併症、既往歴、受傷部位、術式、歩行能力、動作能力、術後在院日数、転帰先 等

4.外部への試料・情報の提供

聖路加国際病院と江東リハビリテーション病院で共同して臨床データを収集の上、聖路加国際病院で解析を行います。各施設における研究責任者は次の項目「5.研究組織」ページに記載しております。患者さんの情報は、各施設で誰のものかわからないように匿名とした上で、データセンターに集めます。データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。匿名としたデータと研究の対象の方との対応した表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。

5.研究組織

次に記す実施体制のとおりです。

【研究の実施体制】

《研究代表機関》

学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院

住所 : 東京都中央区明石町 9-1
電話 : 03-3541-5151
研究責任者 : リハビリテーション科 直長 史也

《共同研究機関・分担研究施設》

一般社団法人巨樹の会 江東リハビリテーション病院
住所 : 東京都江東区北砂 2-15-15
電話 : 03-6880-1555
研究責任者 : リハビリテーション科 畠田 将行